



包括だより 大迫版

9月



# おおはさまの小窓



## 小窓①

### 自立した生活をサポート！～住宅改修と福祉用具～

今回は、介護保険の住宅改修を利用し、自立した生活を継続されている佐々木ミヨノさんを紹介いたします。ミヨノさんは、膝痛・腰痛のため自宅内は手すりにつかまりながら歩行していましたが、玄関と風除室に手すりがなく転倒の危険性がありました。そこで、介護保険を使って住宅改修を行い、手すりを設置。安全に屋内外を行き来することが出来るようになりました。

また、トイレの取っ手が掘り込み式のため開け閉めに大変し、スリッパを挟み開け閉めしやすいようにしていましたが、改修を行い握りやすいハンドルを取り付けました。「手すりやハンドルを取り付けたことで、とても生活しやすくなりました。自分でも転ばないように気を付けたい」との話が聞かれました。一人暮らしですが、たくさんの友達や親類、家族に囲まれいつも笑顔なミヨノさん、これからも活気あふれる毎日を送ってくださいね！

(※住宅改修には事前に申請が必要です。申請せずに改修した場合は対象となりません。)



ハンドルを設置。握りやすい！ (Install handle. Easy to grip!)



据え置き式の手すりと組み合わせてより安全に (レンタル) (Combine fixed handrail and rental for more safety)



## 小窓②

### 消えた鉄なべ！施錠を習慣化しましょう



内川目の主婦からの情報です。

ある春の日、わらびを煮るため蔵に釜を取りに行くと、直径 1m、80 cm、50 cmの三つのつば釜が見当たりません。よく見ると、とび（木を引き上げる道具）も無くなっていることに気づきました。さらに、近所のお宅でも、土間に置いてあったチェーンソーがなくなったとのこと！

この辺りでは、鉄類を集めて回る軽トラックが来て、男女二人が家の中や蔵の中を物色しているのが目撃されているようです。物色中には「ここにはいい機械がいっぱいあるよ！」という会話を聞いた住民もいるとのこと。先日、岩手県の無施錠被害率が全国でワースト1位とのニュースも流れていましたが、大切なものは鍵のかかるところに保管しておくよう心掛けましょう。